

7 親子手つなぎバンドで交通安全

15

未就学児の事故防止に向け、市が配布

子どもの交通事故防止を防ぐために保護者との手つなぎを推進する市のキャンペーン「ててCAM(キャン)」のキックオフイベントが、この日神明幼稚園で開かれました。牧野市長らが、園児99人と保護者らにリストバンドを手渡し、「リストバンドをつけて子どもを守ってほしい」と呼び掛けました。早速園児は、両親や祖父母にリストバンドをはめてもらい手をつないで帰りました。市は「FAAVOさばえ」で募った資金を活用し、親子お揃いのリストバンド2,160セットを製作。市内の3～5歳児のいる家庭に配布します。



お揃いの“手つなぎバンド”をはめる園児と保護者



マスコット作りに夢中になる子どもたち

7 みんなでアートに挑戦!!

19

まなべDEわくわく!!アートフェスタ2015開催

今年もまなべの館で開催した「まなべDEわくわく!!アートフェスタ」。今回も伝統工芸や芸術など4つのカテゴリーから16種類のワークショップが開かれ、子どもから大人までそれぞれ自分の好きなプログラムを楽しみました。「羊毛クラフト」では、お湯で薄めた洗剤液を羊毛に馴染ませ、その羊毛で石を包み、水で洗いながら形を整えたものに、目や口などを付けて自分だけのオリジナルマスコットを作製。子どもたちは、友達や家族に相談しながら、耳をつけたり、ひげをつけたりして、思い思いに楽しんでいました。

7 楽しみながら「防育」

24

児童が合宿通学で災害時の知識を学ぶ

神明、鳥羽小学校の4年生児童44人が、神明公民館を拠点とした合宿通学で、防災について学習しました。市内の防災士でつくる「防災士ネットワークさばえ」の指導の下、防災グッズとして、新聞紙でスリッパ、段ボールで机や椅子を作りました。スリッパを履いた児童は、「意外と簡単だったので家でも作ったみたい」と話し、特に椅子は座ってもびくともせず、「思っていたよりがっしりしていた」と驚いた表情を見せていました。他に非常食の試食や防災クイズを通して、児童は災害の時に役立つ知識を深めていました。



段ボールで非常用の机をつくる子どもたち

7 子どもたちに本の楽しさを

29

文化の館に紙芝居を寄贈

読書を通じて子どもたちに豊かな心を育ててもらおうと、国際ソロプチミスト福井のメンバー6人はこの日、文化の館を訪れ、紙芝居16冊を寄贈しました。女性のみで構成されていることを生かし、特に児童や青少年の健全育成を推進する活動に尽力されているメンバーの皆さんは、今年から5年間この活動を続ける予定とのこと。文化の館の宇野館長は「命を大切にするような内容のものが多くので、今の子どもたちにぜひ読んでもらいたい。ありがとうございます」と感謝の意を述べました。



紙芝居を寄贈する国際ソロプチミスト福井のメンバー

8/2 プロの指導で本物の眼鏡を造る

京都精華大学で眼鏡専門のデザイン授業

今年、京都精華大学に、眼鏡のデザインを専門に学ぶ授業が新設されました。教鞭を執るのは、市内で眼鏡の企画販売を行う「ポストクラブ」のデザイナー。学生たちは、眼鏡の歴史・構造・素材などを学び、オリジナル眼鏡を作製しプロモーションまで学びます。この日は、受講生による成果発表が行われ、それぞれに考えたオリジナルのデザインを発表。講師は「シンプルでありながら斬新なデザイン。自分たちも勉強になる」と高く評価していました。皆さんの今後の活躍に期待したいですね。



発表した学生たちの作品



華やかな化粧まわしをまとい登場する力士たち

8/5 真夏の鯖江で熱い戦い

大相撲鯖江場所開催

この日、県内では3年ぶり、嶺北では15年ぶりとなる地方巡業「大相撲鯖江場所」がサンドーム福井で開催されました。「わんぱく相撲」では子どもたちが力士に挑戦。自分より何倍も大きい力士にぶつかっていき、そのパワーを体感していました。また、力士が相撲の禁じ手しよつぎりを紹介する「初切」では、ユーモアを交えながらの実演に客席から笑いが巻き起こりました。取組が始まると、気迫ある体と体のぶつかり合いに約4,500人の観客は魅了され、会場は熱気と歓声に包まれました。

8/6 全員野球で優勝!!

鯖江ボーイズ初優勝

県予選を勝ち抜き、第46回日本少年野球選手権大会中学生の部（8月2日～6日）に出場した鯖江ボーイズ。粘り強い戦いで3回戦を突破し、準決勝では昨年の覇者、枚方ボーイズ（大阪）と対戦。初回到3点を奪われましたが、5回に逆転し決勝戦に進出しました。決勝戦では大東巖ボーイズ（大阪）と対戦し、10対2で見事勝利。大会前に激励に訪れた牧野市長に「優勝を目指したい」と語ったメンバーは、出場46チームの頂点に立ち、その言葉通り初の優勝を勝ち取りました。



初優勝を果たした鯖江ボーイズの選手たち



東日本学校吹奏楽大会に出場する東陽中吹奏楽部の皆さん

8/7・8/9 吹奏楽コンクールで金賞受賞

東陽中が東日本、ソノーレが全国大会出場へ

第56回北陸吹奏楽コンクールが金沢市で開催され、北陸3県から計78団体が出場しました。この中で、30人以内で編成する「中学B」部門で、東陽中吹奏楽部が見事金賞に輝き、10月に札幌市で開催される第15回東日本学校吹奏楽大会への出場を決めました。また、同コンクール「職場・一般」部門で、ソノーレ・ウインドアンサンブルが金賞を受賞し、北陸代表として同じく10月に札幌市で開催される全日本吹奏楽コンクールへの出場を決めました。本大会でも素晴らしい演奏を繰り広げてください。おめでとうございます。